

こんにちは

会社訪問記

お客様の繁栄、会社の繁栄、従業員の繁栄を大切に、適正処理に挑み続けます。

サンエイ株式会社

(愛知県刈谷市)

逢妻川と境川にはさまれた場所に位置するサンエイ株式会社は、トヨタ系各社の廃棄物処理を主に取扱っていらっしゃいます。同社の環境事業部に伺い、小川部長、岡本参事補、加藤課長、金森係長の四氏にお話をお聞きしました。

——創業は古いとお聞きしましたが。

加藤課長 (以下加藤に略)『大正9年に土木建築請負・運搬・貨物荷役業務を中心にスタートしました。大正11年に豊田織機ができて以来、トヨタ系各社と共に成長してまいりました。』



小川部長

——産業廃棄物処理などの環境事業に参入されたのはいつ頃からになりますか。

岡本参事補 (以下岡本に略)『昭和46年に当地に環境事業部が移り、焼却設備の1号炉が設置された昭和47年頃から本格的にはじめたわけです。』

——環境事業部では主にどのようなことを行っているのでしょうか。

加藤『トヨタ系各社から出る廃棄物を主に処理しています。当社はある意味でトヨタの産業廃棄物処理部門的な要素がありますね。もちろんトヨタ系以外のお客様もたくさんいらっしゃいます。』

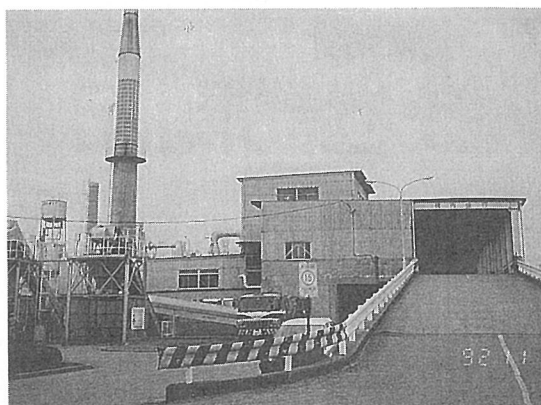
——では設備内容を具体的に教えてください。

小川部長 (以下小川に略)『47,000㎡の敷地の中に焼却炉などの中間処理施設、遮断型・管理型の処分場を揃え、収集運搬から最終処分まで一貫して廃棄物処理に当たっています。』

加藤『2基ある焼却炉では、木くず・紙くず、汚泥などを焼却しています。』

岡本『遮断型埋立処分場は現在メッキスラッジを中心に処理しています。』

小川『この遮断型埋立処分場の密封層は、法律で定められている標準の原型なんです。また、当社



社名/サンエイ株式会社 所在地/環境事業部 愛知県刈谷市泉田町西沖/河原1番地
代表者/神谷健安 設立/大正9年 従業員/2100人(全社) TEL/0566(22)2114
モットー/創意・誠意・熱意 保有車両/300台 事業所/本社、7事業部
関連会社/4社 営業種別/収集運搬、中間処分、埋立最終処分
取扱い品目/燃えがら、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等、鉱さい、建設廃材、グスト類、その他

は昭和46年に全国で初めて民間資本として産業廃棄物処理センターを設置した企業でもあるんです。』

——では話題を変えて、TQC活動などについての考えをお聞かせください。

小川『当社は業務改革・提案委員会を設置し、常に能率向上を図るよう努めています。当事業部内では金森係長が委員長になって実績を上げてくれています。』

金森係長『TQC活動には従業員各自に仕事に対する問題・責任意識を自覚させるという大きな意味があります。小さな積み重ねによる改善が大きな成果を上げるのですからね。』

——最後に、環境事業部の将来展望をお聞かせください。

加藤『中間処理プラントの充実を図っていきたいと思います。リサイクルルートを整備して実績を上げ、2~3年後を目標に最終処分場の確保も考えています。』

小川『未来を見据えた経営観を磨き、よりよい環境を次世代に残せるよう努めていきたいですね。』

“サンエイ”とは、お客様と会社と従業員の3つが栄えるようにという願いが込められている社名とのこと。これからも社名どおり繁栄を続けてください。



改善事例